



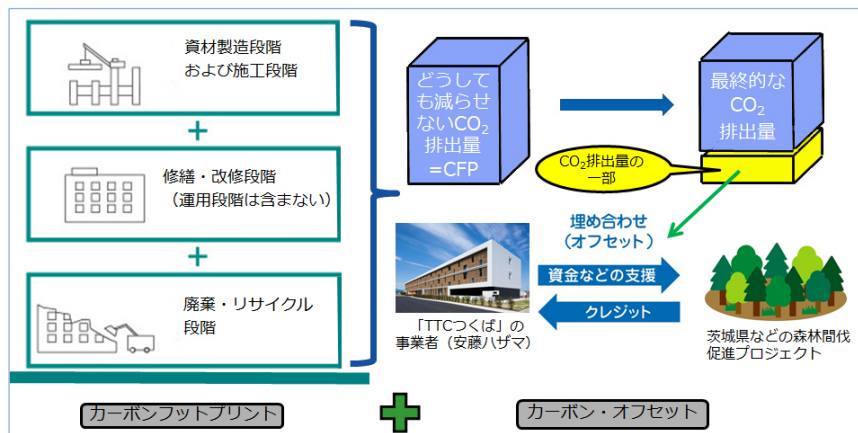
株式会社 安藤・間

実施地域：茨城県

安藤ハザマはライフサイクルあたりのCO2排出量を見える化した**CFP宣言認定**の建築物としてわが国で初めてであり、それに基づいてカーボン・オフセットを行ないました。当該建築物は、茨城県つくば市の当社研修用宿泊施設「TTCつくば」（TTC=Technology Training Center）です。ここでは設計・施工においてCO2の排出をできるだけ抑えた工法も採用しています。

■ 取組概要

建築物で初の**CFP宣言認定**を取得した当社研修用宿泊施設「TTCつくば」では、ローカーボンハイパフォーマンスコンクリート（CO2排出量が少ないひび割れ抑制型コンクリート）、エコ基礎梁工法（コンクリート打設量、掘削土量が削減される工法）、プレキャスト工法（工場などであらかじめ製造されたコンクリート製品を用いた工法）など当社の保有する環境技術を広く採用しました。このように建築物の設計・施工においてCO2の排出をできるだけ抑えたうえで、建物のライフサイクルあたりのCO2排出量を見える化した**CFPプログラム**に基づいてカーボン・オフセットを行ないました。カーボン・オフセットに用いたクレジットは、「TTCつくば」の地元茨城県の森林間伐促進プロジェクトからも購入し、地域社会に貢献しています。



■ 今後の展望

カーボン・オフセットは、建築物のオーナーにとって低炭素社会への貢献をアピールできるだけでなく、地球温暖化対策としての補助金や減税の適用対象となりコスト削減にも繋がります。特に**CFPプログラム**に基づいたカーボン・オフセットにより製造物と同様に建築物のどの工程に対してどの程度カーボン・オフセットを行うのか定量的に明示することができ説得力が高まります。また**CFPプログラム**で建築物のライフサイクルでのCO2排出量が「見える化」されることにより、建築物の用途に応じた環境負荷の少ない材料・工法等を選択したり、CO2排出量の少ない施工方法の開発にも役立ちます。安藤ハザマは今後、建物だけでなく、土木構造物においても**CFPプログラム**の取得を検討し、建設業でのカーボン・オフセットのさらなる拡大を目指します。

■ カーボン・オフセット量： 247t-CO2（2016年度）

「CFPプログラム」とは、**CFP**（カーボンフットプリント）とは、Carbon Footprint of Productsの略称です。**CFPプログラム**とは、商品やサービス等のライフサイクル全体で排出された温室効果ガスを二酸化炭素の排出量に換算して「見える化」する仕組みの一つです。

全てのプロセスの環境影響を定量的に把握
一定のルールに基づいて算定

